

令和3年度 新杉田地域ケアプラザP D C Aシート_公表用（事業計画書、事業報告書、事業実績評価）

—総括表—

◆ 事業計画

☐ 地域の現状と今後の方向性

杉田地区は海側の工業地、低地の市街地、丘の上に形成された住宅地に大きく区分されます。

3つの鉄道駅を中心に昔ながらの商店街や商業施設が集まり賑わいのあるまちですが、丘の上の住宅地等では移動や買物等に課題を感じている人も多く、令和2年10月より買物移動販売が始まっております。また、健民祭等の多世代交流行事、健康づくり活動などが盛んである一方、老人会や子供会の運営継続等に課題もあります。

今年度も新型コロナウイルス感染症の影響は避けられませんが、地域住民が地域で孤立することなく、必要な方に必要な情報を届けられるように、地域の中で人と人が関わり支え合うことの重要性を認識しながら、感染予防を徹底するとともに、地域住民ならびに地域の活動を支える仕組みづくりに取り組んでまいります。

☐ 今年度の重点的な取組

新 規	継 続	—具体的な取組内容—
☐	■	広報誌等の紙面だけではなく、ホームページや、SNSを活用したタイムリーな情報発信を行うとともに、シニア向けのスマホ教室などの事業を引き続き開催し、コロナ禍による孤立化を予防する。
■	☐	介護予防教室及び出前講座毎に、CPが相談支援機関であることの周知啓発と共に、相談対応を行う。また、支援機関を掲載したウォーキングマップを保健活動推進員等と協働で作成し、自治会や介護予防活動グループ等に配付し、介護予防の普及啓発を図る。
■	☐	いそご地域活動ホームいぶき、後見の支援室コネクト・ハート等と共催し、地域の障害当事者の方と民生委員や主任児童委員等との情報共有・交流の機会を企画する。また、地域の障害者理解の啓発のための活動を通して、それぞれの支援機関の役割機能の相互理解、周知、地域住民との関係構築を図る。
☐	■	詐欺被害防止に向けポケットティッシュ配布等を媒体とし、ケアマネジャーやサービス事業所、高齢者だけではなく地域住民への啓発を進めていく。
■	☐	地域住民や民生委員に対し、講座や勉強会を通してACPの普及啓発に取り組む。

◆ 事業報告・事業実績評価

☐ 振り返り

【情報発信】

地域情報誌『ぶらむNEWS』とTwitterにて、タイムリーな情報を必要な方に届ける情報発信の強化を行うとともに、自主事業等の申し込みにGoogleフォームを新たに活用しました。またコロナ禍の高齢者の孤立化予防のためにシニア向けのLINE講座を開催し、スマホを利用したコミュニケーションや仲間づくり、居場所づくりを行いました。

【介護予防の普及啓発】

コロナ禍におけるフレイル予防、つながりを意識できるツールとして「杉田de健康ウォーキングまっぷ」を保健活動推進員と協働して作成し、自治会町内会、保健活動推進員、民生委員、元気づくりステーション、老人クラブ連合会、講座参加者、地域施設などに配付し介護予防の普及啓発を行いました。また、まっぷに掲載している杉田地区の他の相談支援機関との連携を図るツールとしても活用を行っています。

【障害者理解の啓発】

いそご地域活動ホームいぶき、後見の支援室コネクト・ハート、磯子区社会福祉協議会と連携し、地域の障害当事者の方と、民生委員・主任児童委員との交流会を実施。杉田地区での障害児の子育てや、地域の方の日ごろの見守り、障害のある方の防災訓練への参加について等、様々な話題について話を行いました。その他にも、地域の子育て広場や、会議、イベント等についても積極的に情報交換し、一緒に出席するなど、支援機関同士・地域住民との関係性構築に努めました。

【詐欺被害防止に向けた普及啓発】

地域での講座参加者やケアプラザ窓口での配布の他、杉田台自治会では自治会長に協力いただき、全戸配布を行いました。

【ACPの普及啓発】

磯子区在宅医療連携拠点かけはしと協働し、ケアマネジャー及び民生委員交流会にてACP普及啓発講座を実施。参加型の教材を用いるなど、動機付けが高められるよう内容の工夫を行いました。

☐ 区からのコメント

・コロナ禍において地域の方々が求める情報を求める形で提供できるよう心掛け、広報誌等工夫して発行していました。第4期地域福祉保健計画策定の過程で高まった地域の方々の「自分たちの街をよくしていこう」という気持ちをどう推進に活かしていくか区・区社協とともに模索検討した一年であったように思います。日常的には地域の方々との関係を丁寧に築きながら、各種事業に取り組んでいただきました。引き続き、築いた関係を生かして地域支援を進めていただくことを期待しています。

・民間企業等も含めて構築されているエリア内のネットワークを生かして、次年度以降も、認知症支援、介護予防、詐欺被害防止を含めた権利擁護などの取組を、効果的に進められると考えています。ACPの普及啓発については、先駆的に進められている取組を引き続き展開していただき、区域全体の動きも連動して進めていきたいと考えています。

令和3年度新杉田地域ケアプラザ事業計画書・報告書（施設運営、介護保険事業）

1 施設の適切な運営について

	公正・中立性の確保について	コンプライアンスへの対応について （事故防止、個人情報保護等）
取組 計画	・利用者の意思及び人格を尊重し、公正中立な立場から、利用者が可能な限り居宅においてその有する能力に応じて、自立した日常生活を営むために必要な居宅サービスが適切に利用できるよう支援を行います。 ・事業所の選択に係る相談にあたっては、事業所の一覧を提示する等、複数の選択肢があることを相談者が知る機会を設けます。	・安全衛生委員会を中心に毎月重点目標を設定し、各職場で取り組みます。 ・ヒヤリハット発生時には、朝礼や昼礼、終業時に日常的に報告しあい、情報共有を行うことで、事故ゼロを目指します。 ・デイサービス送迎時の車両事故に関しても、年間の車両安全カレンダーを作成、職員控室に掲示し毎日チェックすることで、無事故継続への意識向上に努めます。 ・ご利用者の体調急変に対応できるよう、磯子消防署のご協力をいただき、職員を対象とした、AED及び心肺蘇生法の研修会を開催します。 ・運営法人の定める「個人情報保護規程」に基づき、個人情報の保護管理にあたり、個人情報流出事故は0件を目指します。 ・半期で契約を更新する非常勤職員に対して、雇用契約書の書面上に個人情報保護に関する誓約書を併記し、定期的な意識啓発を行います。また、職員を対象とし内部研修を行うほか、個人情報保護についての最近の傾向や事例を報告します。
実績	・部門別利用者アンケート等を実施し、その業務の公正・中立性を振り返りました。 ・常に相談者（ご利用者様）の立場に立ち、相談者（ご利用者様）の意志及び人格を尊重し、提供されるサービス等が特定の事業者に不当に偏ることがないように公正中立を意識した支援を行いました。	・安全衛生委員会を中心に毎月重点目標を設定し、各職場で取り組みました。 ・ヒヤリハット発生時には、朝礼や昼礼、終業時に報告しあい、情報共有を行うことで事故ゼロを目指してきましたが、介護事故が1件発生しました。 ・デイサービス送迎時の車両事故に関しても、年間の車両安全カレンダーを作成し、毎日チェックすることで、無事故継続への意識向上に努めてまいりましたが、3件の車両事故を起こしてしまいました。どの事故も車両の擦り傷程度の破損で利用者への影響等はありませんでした。 ・通所介護事業所において、通所介護計画書の誤送付による個人情報の流出事故がありました。 ・半期で契約を更新する非常勤職員に対し、雇用契約所の書面上に個人情報保護に関する誓約書を併記し、定期的な意識啓発を行いました。また、全職員を対象に個人情報漏えい防止チェックシートを活用し、啓発を行いました。

2 指定介護予防支援事業、居宅介護支援事業

	指定介護予防支援事業 第1号介護予防支援事業	居宅介護支援事業
目標	・利用者本人が目標を理解した上で、その達成のために必要なサービスを主体的に利用して、目標に取り組んでいけるような計画を作成し、実行できている。 ・地域特性を生かしたサービスBやインフォーマルサービス等をプランに活用し、「心身機能」「活動」「参加」にバランスよくアプローチする支援ができている。	・ご利用者本人が望む人生の最終段階における医療・ケアについて、前もって考え、医療及び多職種を交えたケアチーム等と繰り返し話し合い、共有する取組を行っています。 ・利用者像や課題に応じた適切なアセスメントを実施していきます。 ・AIを導入し、自立支援・重度化防止などに資するケアプランの作成ができるようにしていきます。 ・特定事業所加算算定事業所として質の高いケアマネジメント実施と安定経営を目指して、定期的な会議の継続と計画に基づいた研修受講を進めていきます。また研修はオンラインによる研修の受講も行っています。 ・他法人との合同研修を企画し、ケアマネジャーとしてのスキルアップを目指します。
利用 料金 ・ 実費 負担		
職員 体制	保健師1名、主任ケアマネジャー1名、社会福祉士2名、 予防プランナー2名	管理者 1名 ケアマネジャー5名（常勤兼務1名、常勤専従2名、非常勤兼務2名）
契約 者数	231名	129名

3 通所系サービス事業

	通所介護 (介護予防・第1号・通所介護)	認知症対応型通所介護 (介護予防・通所介護)	地域密着型通所介護 (介護予防・通所介護)
目標	・ ご利用者の意思を尊重し、自立した日常生活とそのご家族の負担軽減を目標にご利用者の心身の特性を踏まえ、その有する能力に応じた通所介護サービス提供に努めます。 ・ 通所介護のサービス提供にあたっては、関係行政機関、地域の保健・医療・福祉サービス、ボランティア団体等と綿密な連携を図り、総合的なサービス提供の調整に努め、要介護状態の軽減もしくは悪化の防止に資するように十分に配慮します。 ・ ご利用者の状況の変化などを的確に捉え、ご家族や担当ケアマネジャーとの連携を密にして、安心・安全なサービスの提供を心掛けます。		
実施体制	【実施日数】 304日 【提供時間】 9：30～16：35 【定員】 35名	【実施日数】 【提供時間】 【定員】	【実施日数】 【提供時間】 【定員】

利用 料金 ・ 実費 負担	1 割負担分 (要支援 1) 1,793円/月 (要支援 2) 3,675円/月 (要介 護 1) 703円/日 (要介護 2) 829円/日 (要介護 3) 961円/日 (要介護 4) 1,092円/日 (要介護 5) 1,225円/日 【加算】 ・ 個別機能訓練加算 (Ⅰ) イ (要介護1～5) 60円/日 ・ サービス提供体制強化加算Ⅰ (要支援1) 94円/月 (要支援2) 188円/月 (要介護1～5) 24円/日 ・ 運動器機能向上加算 242円/月 ・ 入浴介助加算 43円/日 ・ 介護職員処遇改善加算Ⅱ 所定単位×43/1000 (月につき) ・ 介護職員等特定処遇改善加算Ⅰ 所定単位×12/1000 (月につき) 【実費負担】 ・ 食費 700円		
職員 体制	管理者 1 人 生活相談員 3 人 看護職員 2人 機能訓練指導員 4人 介護職員 17人 送迎車ドライバー 6人		
契約 者数 等	【延べ利用者数】 7,597名 【契約者数】 106名	【延べ利用者数】 【契約者数】	【延べ利用者数】 【契約者数】

令和３年度 「新杉田地域ケアプラザ（施設名）」
 収支予算書及び報告書（一般会計）＜地域活動交流＞

収入の部

（単位：円）

科目	当初予算額（A）	補正額（B）	予算現額（C=A+B）	決算額（D）	差引（C-D）	説明
指定管理料	32,762,519		32,762,519	33,821,646	△ 1,059,127	横浜市より
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）			0		0	
雑入	0	0	0	0	0	
印刷代			0		0	
自動販売機手数料			0		0	
その他			0		0	
その他	4,492,540		4,492,540		4,492,540	
収入合計	37,255,059	0	37,255,059	33,821,646	3,433,413	

支出の部

科目	当初予算額（A）	補正額（B）	予算現額（C=A+B）	決算額（D）	差引（C-D）	説明
人件費	10,523,778	0	10,523,778	10,334,883	188,895	
本俸	3,706,371		3,706,371	7,091,870	△ 3,385,499	
社会保険料	674,195		674,195	735,271	△ 61,076	
手当計	1,976,546		1,976,546	2,209,298	△ 232,752	
健康診断費	14,922		14,922	24,046	△ 9,124	
勤労者福祉共済掛金	150,188		150,188	6,750	143,438	ハーフふれんど
退職給付引当金繰入額			0	87,450	△ 87,450	
その他	4,001,556		4,001,556	180,198	3,821,358	
事務費	1,491,822	0	1,491,822	1,380,122	111,700	
旅費	10,000		10,000	9,620	380	
消耗品費	687,000		687,000	349,440	337,560	
会議諸費	2,500		2,500	0	2,500	
印刷製本費	68,600		68,600	30,286	38,314	
通信費	145,000		145,000	45,094	99,906	
使用料及び賃借料	0	0	0	0	0	
自販機目的外使用料（横浜市への支出）			0		0	
その他			0		0	
備品購入費	100,000		100,000	196,440	△ 96,440	
図書購入費	0		0	0	0	
施設賠償責任保険	60,300		60,300	61,027	△ 727	
職員等研修費	11,000		11,000	0	11,000	
振込手数料	900		900	1,367	△ 467	
リース料	267,600		267,600	128,724	138,876	
手数料	66,000		66,000	6,743	59,257	
地域協力費	10,000		10,000	6,475	3,525	
その他	62,922		62,922	544,906	△ 481,984	
事業費	535,700	0	535,700	412,294	123,406	
運営協議会経費	0		0		0	予算：指定額
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）	535,700		535,700	412,294	123,406	
その他			0		0	
管理費	7,318,700	0	7,318,700	6,946,324	372,376	
光熱水費	3,175,000		3,175,000	1,299,600	1,875,400	
清掃費	577,995		577,995	595,881	△ 17,886	
機械整備費	124,272		124,272	124,272	0	
設備保全費	2,138,142	0	2,138,142	2,323,203	△ 185,061	
空調衛生設備保守	1,001,820		1,001,820	1,056,773	△ 54,953	
消防設備保守	154,831		154,831	214,347	△ 59,516	
電気設備保守	293,123		293,123	307,436	△ 14,313	
害虫駆除清掃保守	104,359		104,359	104,359	0	
駐車場設備保全費			0	0	0	
その他保全費	584,009		584,009	640,288	△ 56,279	
共益費			0		0	
その他	1,303,291		1,303,291	2,603,368	△ 1,300,077	
修繕費	474,000		474,000	983,314	△ 509,314	予算：指定額
公租公課	905,040	0	905,040	0	905,040	
事業所税			0		0	
消費税	905,040		905,040	0	905,040	
印紙税			0		0	
その他			0		0	
その他	16,006,019		16,006,019	16,592,205	△ 586,186	加算：共通通路管理費
支出合計	37,255,059	0	37,255,059	36,849,142	605,917	
差引	0	0	0	△ 2,827,496	2,827,496	

自主事業費 収入	0	0	0	0	0	
自主事業費 支出	535,700	0	535,700	412,294	123,406	
自主事業 収支	△ 535,700	0	△ 535,700	△ 412,294	△ 123,406	

管理許可・目的外使用許可に関わる収入	0	0	0	0	0	目的外使用許可（自販機）による手数料収入
管理許可・目的外使用許可に関わる支出	0	0	0	0	0	目的外使用許可（自販機）による横浜市への支出
管理許可・目的外使用許可に関わる収支	0	0	0	0	0	

※各大項目の内訳については、「その他」欄に集約して記載している場合もあります。

令和3年度 「新杉田地域ケアプラザ（施設名）」
収支予算書及び報告書（一般会計）＜包括・介護予防・生活支援＞

収入の部

(単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料【包括】	30,261,000		30,261,000	30,261,000	0	横浜市より
指定管理料【介護予防】	154,000		154,000	154,000	0	横浜市より
指定管理料【生活支援】	5,802,000		5,802,000	5,802,000	0	横浜市より
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【包括】			0		0	
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【介護予防】			0		0	
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【生活支援】			386,910		386,910	
雑入	0	0	0	0	0	
印刷代			0		0	
自動販売機手数料			0		0	
その他			0		0	
その他	386,910		386,910		386,910	
収入合計	36,603,910	0	36,603,910	36,217,000	386,910	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	32,460,710	0	32,460,710	33,849,118	△ 1,388,408	
本俸	17,876,790		17,876,790	17,961,690	△ 84,900	
社会保険料	3,861,901		3,861,901	4,038,027	△ 176,126	
手当計	9,419,145		9,419,145	10,002,091	△ 582,946	
健康診断費	30,285		30,285	28,344	1,941	
勤労者福祉共済掛金	32,244		32,244	32,250	△ 6	ハマふれんど
退職給付引当金繰入額	408,630		408,630	389,550	19,080	
その他	831,715		831,715	1,397,166	△ 565,451	
事務費	942,700	0	942,700	1,103,965	△ 161,265	
旅費	65,000		65,000	39,430	25,570	
消耗品費	188,500		188,500	125,885	62,615	
会議贈い費	2,500		2,500	931	1,569	
印刷製本費	0		0	20,011	△ 20,011	
通信費	434,500		434,500	246,997	187,503	
使用料及び賃借料	0	0	0	0	0	
自販機目的外使用料（横浜市への支出）			0		0	
その他			0		0	
備品購入費	50,000		50,000	39,350	10,650	
図書購入費	28,000		28,000	0	28,000	
施設賠償責任保険	16,000		16,000	16,222	△ 222	
職員等研修費	50,000		50,000	28,100	21,900	
振込手数料	5,000		5,000	1,635	3,365	
リース料	69,000		69,000	32,934	36,066	
手数料	0		0	2,212	△ 2,212	
地域協力費	15,000		15,000	0	15,000	
その他	19,200		19,200	550,258	△ 531,058	
事業費	1,200,500	0	1,200,500	394,698	805,802	
協力医	630,000		630,000	126,000	504,000	予算：指定額
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【包括】	68,500		68,500	53,225	15,275	
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【介護予防】	154,000		154,000	154,000	0	
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【生活支援】	348,000		348,000	61,473	286,527	予算：指定額
その他			0		0	
管理費	1,874,000	0	1,874,000	2,878,353	△ 1,004,353	
光熱水費	844,000		844,000	345,428	498,572	
清掃費	153,639		153,639	158,395	△ 4,756	
機械整備費	33,034		33,034	33,034	0	
設備保全費	538,503	0	538,503	617,546	△ 79,043	
空調衛生設備保守	236,447		236,447	280,908	△ 44,461	
消防設備保守	41,157		41,157	56,977	△ 15,820	
電気設備保守	77,917		77,917	81,720	△ 3,803	
害虫駆除清掃保守	27,740		27,740	27,740	0	
駐車場設備保全費	0		0	0	0	
その他保全費	155,242		155,242	170,201	△ 14,959	
共益費			0	0	0	
その他	304,824		304,824	1,723,950	△ 1,419,126	
修繕費	126,000		126,000	122,566	3,434	予算：指定額
公租公課	0	0	0	0	0	
事業所税			0		0	
消費税			0		0	
印紙税			0		0	
その他			0		0	
その他			0		0	
支出合計	36,603,910	0	36,603,910	38,348,700	△ 1,744,790	
差引	0	0	0	△ 2,131,700	2,131,700	

自主事業費 収入	0	0	0	0	0	
自主事業費 支出	570,500	0	570,500	268,698	301,802	
自主事業 収支	△ 570,500	0	△ 570,500	△ 268,698	△ 301,802	

管理許可・目的外使用許可に関わる収入	0	0	0	0	0	目的外使用許可(自販機)による手数料収入
管理許可・目的外使用許可に関わる支出	0	0	0	0	0	目的外使用許可(自販機)による横浜市への支出
管理許可・目的外使用許可に関わる収支	0	0	0	0	0	

※各大項目の内訳については、「その他」欄に集約して記載している場合もあります。

令和3年度 自主事業計画書・報告書

■ 事業	■ 事業の性質	■ 主な対象者、従たる対象者
1：地域活動交流事業 3：生活支援体制整備事業 6：共催（2と3）	1：優先的に取り組みが求められる事業 2：福祉保健活動に発展させることをねらいとした事業	1：高齢者 4：子ども・青少年 7：その他
2：地域包括支援センター運営事業 4：共催（1と2） 7：共催（1と2と3）		2：障害児・者 5：地域
		3：養育者及び乳幼児 6：事業者

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者	事業内容・実施時期	合計	
									実施回数	延べ参加人数
1	ベビイとママのすくすくひろば	平成13年度	1：地域活動交流事業	1：優先的に取り組み	子育て支援 地域の乳幼児の母親を対象とした「子育て支援」を目的とした事業。	3：養育者及び乳幼児		5か月児～1歳児未満とその母親を対象とし、体操や育児相談等を行い、親の交流、情報共有・交換の場となるように導く。各コース25組定員。 (前期・5月～9月/後期・10月～3月) 月2回、第2・4火曜日 全10回×2コース	17	281
2	のんびりママの会	平成14年度	1：地域活動交流事業	1：優先的に取り組み	子育て支援 地域の1歳児の母親を対象とした「子育て支援」を目的とした事業。	3：養育者及び乳幼児		リトミックで、リズム、音楽を体で体験し、想像力や表現力を養い、心と体の調和を作り出します。 各コース20組定員(前期5月～9月/後期・10月～3月) 月1回、第2金曜日 全5回×2コース	10	141
3	ミニデイ「サロンまどか」	平成9年度	1：地域活動交流事業	1：優先的に取り組み	介護予防・引きこもり防止、介護者・独居者支援 地域の高齢者を対象としたミニデイサービス。	1：高齢者		健康体操・手芸教室やレクリエーションの他にも、健康相談や消費者生活センター等の各種団体による情報提供等を実施する。また、地域の保育園の園児との交流などを行う。 通年(8月は休み)全11回 月1回、第4火曜日	8	52
4	花といっしょに	平成18年度	1：地域活動交流事業	1：優先的に取り組み	介護予防・引きこもり防止 高齢者の引きこもり予防等を目的とした事業。	1：高齢者		地域の65歳以上の高齢者(特に2次予防事業対象者を優先)を対象に、フラワーアレンジメントと介護予防講座、茶話会を中心としたプログラム。 通年 全10回(4・8月は休み)月1回、第4金曜日 2コース	17	193
5	のびのび体操倶楽部	平成15年度	1：地域活動交流事業	1：優先的に取り組み	介護予防・引きこもり防止 地域の高齢者の転倒予防・引きこもりの予防を目的とし、平成15年度転倒骨折予防事業参加者を中心として開催。	1：高齢者		エアロビクスの要素を取り入れた健康体操を中心としたプログラムを実施。 通年 全24回 月2回、第2・4木曜日	18	225
6	転ばん体操倶楽部	平成16年度	1：地域活動交流事業	1：優先的に取り組み	介護予防・引きこもり防止 地域の高齢者の転倒予防・引きこもりの予防を目的とし平成16年度転倒骨折予防事業参加者を中心として開催。	1：高齢者		ハマトレや、参加者の方が持参したタオル等の道具を使用したストレッチ等を中心としたプログラムを実施。 通年 全24回 月2回、第1・3金曜日	13	127
7	みずたま体操倶楽部	平成17年度	1：地域活動交流事業	1：優先的に取り組み	介護予防・引きこもり防止 地域の高齢者の転倒予防・引きこもりの予防を目的とし、平成18年度の地域支援事業(転倒骨折予防教室)参加者を中心として開催。	1：高齢者		特に2次予防事業対象者をを中心に声掛けを行っている健康体操中心としたプログラム。 通年 全51回 毎週、月曜日午後	23	349
8	杉田のあゆみと歴史散策2021	平成25年度	1：地域活動交流事業	1：優先的に取り組み	団塊の世代の男性の地域デビューと引きこもり防止・住んでいる地域を掘り下げて学び、歴史と産業、文化等の情報共有と仲間づくり。	5：地域		地域の歴史を学び、実際にその場所を歩き、寺社・名所などを訪れる。講師・引率役に地域に住んでいる団塊の世代の方々を抜擢して開催する。 通年 全12回 月1回、第4土曜日(2月、8月は第3土曜日)	11	184
9	ボランティア体験講座	平成20年度	1：地域活動交流事業	1：優先的に取り組み	地域支援 地域福祉の充実とボランティアの育成を目指す。	5：地域		ボランティアのあり方を学び、障害者の施設での体験、高齢者施設での体験ができるようなプログラムを実施。 通年 希望者に応じて開催。	0	0
10	手話サークル「海」	平成15年度	1：地域活動交流事業	1：優先的に取り組み	聴覚障害者の交流、仲間づくり、情報交換、手話の習得。 聴覚障害者に対して福祉に関する情報を提供することを中心とした支援。	2：障害児・者		当ケアプラザを活動拠点にする磯子区聴覚障害者協会が中心となって活動する手話サークルと連携し、情報提供等を行う。高齢の聴覚障害者に対する介護保険制度の説明や医療相談、各種福祉団体等からの情報提供も実施する。 通年 全48回 毎週金曜 夜間	22	283
11	COSMOS	平成25年度	1：地域活動交流事業	1：優先的に取り組み	障害児・者余暇支援 「フットサル」を通じて障害児・者の余暇支援としての居場所づくりや、団体行動、コミュニケーション能力、礼儀作法などを学んでいく。	2：障害児・者		磯子区スポーツセンター・屏風ヶ浦地域ケアプラザと共催。 月1回 日曜日 午前(4月、8月は休み)年度末には、大会に出場する。 2021年度はたきがしら会館で開催予定。	10	138
12	にじのゲームクラブ	平成26年度	1：地域活動交流事業	1：優先的に取り組み	学習障害児支援事業・障害児余暇支援 障害児と保護者の居場所づくり、情報共有・情報交換をする。	2：障害児・者		プロジェクターで映し出されたゲームなど、みんなで対戦する。 月1回 第3日曜日 午後	8	65
13	新杉田スクエアステップ教室2021	平成25年度	1：地域活動交流事業	1：優先的に取り組み	介護予防支援 月に2回、スクエアステップを利用した運動を行い、認知症予防や下肢筋力の維持を図る。	1：高齢者		地域の介護予防の取り組みを目的とした教室。 5月～ 月2回 第1・3金曜日	13	183
14	サロン「新杉田」	平成29年度	3：生活支援体制整備事業	1：優先的に取り組み	障害・高齢者支援 引きこもりがちな聴覚障害高齢者の居場所づくり。	2：障害児・者		体操や、レクリエーションタイムを設けおしゃべり、お茶を飲む。 第1・3土曜日 午後	12	223

■ 事業			■ 事業の性質			■ 主な対象者、従たる対象者			合計	
1：地域活動交流事業	2：地域包括支援センター運営事業		1：優先的に取り組みが求められる事業			1：高齢者	2：障害児・者	3：養育者及び乳幼児	実施回数	延べ参加人数
3：生活支援体制整備事業	4：共催（１と２）	5：共催（１と３）	2：福祉保健活動に発展させることをねらいとした事業			4：子ども・青少年	5：地域	6：事業者		
6：共催（２と３）	7：共催（１と２と３）					7：その他				
No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者	事業内容・実施時期		
15	ボランティア交流会	令和元年度	1：地域活動交流事業	1：優先的に取り組み	ボランティア同志の情報交換と活動の継続支援を目的とする。	5：地域		ケアプラザに登録をしているボランティアに集まっていたき、日頃の活動に感謝の気持ちを伝え、ボラからは活動の報告等してもらう。弦楽器のコンサートを鑑賞。 年1回 午後	0	0
16	昭和の歌と共に♪2021	令和元年度	3：生活支援体制整備事業	1：優先的に取り組み	高齢者の居場所づくり 歌と回想法を利用した認知症予防	1：高齢者		平成30年度にて終了した「歌声ひろば」に代わり、歌の自主事業の再開の要望から実施。講師を招き、当時の音源を利用した昭和歌謡と時代背景についての解説を取り入れた講座。 5月～1月1回第3水曜日実施(8月は休み) 全11回	6	56
17	福祉教育	平成18年度	1：地域活動交流事業	1：優先的に取り組み	学生の福祉体験	5：地域		社協との共催で「サマーボランティア」の受け入れ。中学生の福祉体験施設での交流・傾聴体験・レクリエーションのお手伝い等。アイマスク・車いす体験。 随時	0	0
18	シエロアスール春の音楽会	平成25年度	1：地域活動交流事業	1：優先的に取り組み	視覚障害者の余暇支援と交流	2：障害児・者		視覚障がい者・ボランティア南米音楽の演奏会。一般の方にも広くアピールする。 年1回 午後	0	0
19	夏休み企画小学生対象「Pepperと親子で学ぶSDGsと環境・防災教室」	令和3年度	1：地域活動交流事業	1：優先的に取り組み	地域・子育て支援 夏休みの小学生の余暇支援。 異なった学校や、学年を混ぜたグループ割で、協調性、自主性を養う。	4：子ども・青少年		ソフトバンクの協力のもと、環境、防災について、Pepperによる説明の元学ぶ講座。	1	13
20	夏休み企画小学生対象「はじめての親子プログラミング講座」	令和3年度	1：地域活動交流事業	1：優先的に取り組み	地域・子育て支援 夏休みの小学生の余暇支援。 異なった学校や、学年を混ぜたグループ割で、協調性、自主性を養う。	4：子ども・青少年		プログラミング教室。 普段プログラムが行っている操作を人間が行うとどうなるかを体験するワーク、実際にプログラムを作る体験などを親子で楽しむ。 年2回 午前・午後	2	16
21	パパと一緒にリトミック	平成27年度	1：地域活動交流事業	1：優先的に取り組み	子育て支援 パパ同士の交流・情報共有の機会を持つ。 また、子どもとの遊び方や体の動かし方のヒントを得る。	3：養育者及び乳幼児		1～2歳児の子育て中の男性保護者向けに、子供との遊び方接し方などを音楽に合わせて学ぶ。 年3回(6月、9月、3月) 日曜日 午前	3	28
22	ひよこカフェ	平成30年度	3：生活支援体制整備事業	1：優先的に取り組み	子育て支援 高齢世代と子育て世代との多世代交流 ベビイとママのすくすくひろばの終了後に子供を連れてのんびりできる場所が欲しいとの声から立ち上がった居場所づくり。	3：養育者及び乳幼児		子育てサロン ママ同士がおしゃべりをしたり、持参したお昼ご飯などを食べたりする居場所の提供。また、ボランティアスタッフによる保育・栄養のミニ相談等。 4月～年11回(8月は休み)第2火曜日11:30～14:00 交流スペース	7	42
23	実り豊かな老後のために	平成19年度	2：地域包括支援センター運営事業	1：優先的に取り組み	終活事業	5：地域		介護予防と終活講座。主に木曜日の午後の時間帯で企画。 7月～11月 全7コース	5	98
24	地域も元気！自分も元気！講座	平成29年度	2：地域包括支援センター運営事業	1：優先的に取り組み	介護予防 認知症予防・介護予防・口腔・栄養の機能向上を目的とする。	5：地域		住み慣れた地域でいきいき生活するための介護予防連続講座。 杉田東部町内会対象。 6月～10月(8月休み) 全6回	6	93
25	民生・児童・主任児童委員研修会2021	平成20年度	2：地域包括支援センター運営事業	1：優先的に取り組み	地域の民生委員・児童委員との情報共有、勉強会	5：地域		杉田地区の民生委員とケアマネジャーが一堂に会し、互いの職務や地域の中での役割を理解し、地域の高齢者を支援する上でよりきめ細かいネットワーク構築を目指す。 介護保険の基礎知識、ACPIについての研修を実施予定。 5月～6月 全3回	3	38
26	認知症基礎講座	平成29年度	2：地域包括支援センター運営事業	1：優先的に取り組み	地域住民の勉強会・情報共有	5：地域		認知症について、協力医の宮内Dr.をお招きして詳しく学び、疾患を見極めたり、対応の仕方を学ぶ。	0	0
27	認知症普及啓発事業	平成18年度	2：地域包括支援センター運営事業	1：優先的に取り組み	地域住民の勉強会・情報共有 地域がー丸となって認知症になっても住み慣れた街で暮らせるように、サポーターを養成していく。	5：地域		認知症サポーター養成講座 年1回	1	13
28	ホッとティータイム	平成20年度	2：地域包括支援センター運営事業	1：優先的に取り組み	介護者への情報提供等支援	1：高齢者		介護者の情報交換やレスパイトケアを目的とし、地域在住の介護者及び、介護に携わっている方を対象として開催する。介護者同士の情報交換や、施設見学、介護・医療情報の提供等も行う。 通年 全12回 月1回 第2火曜日 午後	9	30

■ 事業 1：地域活動交流事業 2：地域包括支援センター運営事業 3：生活支援体制整備事業 4：共催（１と２） 5：共催（１と３） 6：共催（２と３） 7：共催（１と２と３）			■ 事業の性質 1：優先的に取り組みが求められる事業 2：福祉保健活動に発展させることをねらいとした事業			■ 主な対象者、従たる対象者 1：高齢者 2：障害児・者 3：養育者及び乳幼児 4：子ども・青少年 5：地域 6：事業者 7：その他		
---	--	--	---	--	--	--	--	--

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者	事業内容・実施時期	合計	
									実施回数	延べ参加人数
29	介護予防活動グループ交流会 杉田和ら笑の会	令和3年度	2: 地域包括支援センター運営事業	1: 優先的に取り組み	地域の担い手発掘、情報共有を通じて活動への意識をより高め合う。	1: 高齢者		杉田地区内の元気づくりステーションのメンバーが集まり、交流や情報交換を行う。 年1回	3	50
30	介護予防サポーター養成講座	令和3年度	2: 地域包括支援センター運営事業	1: 優先的に取り組み	介護予防に携わる担い手発掘	5: 地域		講師によるワークショップ等を通じ、介護予防の担い手を発掘する。	0	0
31	ACP講座	令和3年度	2: 地域包括支援センター運営事業	1: 優先的に取り組み	ACPの普及啓発	5: 地域		協力医渋谷Dr.による、地域一般向けのACP講座を開催。 年1回	0	0
32	ミニギャラリー	平成8年度	1: 地域活動交流事業	1: 優先的に取り組み	地域住民支援	5: 地域		福祉機器の展示や、地域の障害者や高齢者の作品発表の場等として場の提供を行う。不特定多数の方々に、福祉に関する興味や関心を持ってもらえるような展示を目指す。 随時展示	0	0
33	福祉用具貸出し	平成8年度	2: 地域包括支援センター運営事業	1: 優先的に取り組み	地域住民支援	5: 地域		車いす、はまちゃん体操DVD、スクエアステップマット等の貸出し。	100	100
34	健康講座 「膝の痛みと上手につきあう」(仮称)	令和元年度	2: 地域包括支援センター運営事業	1: 優先的に取り組み	地域住民に膝痛の対処方法と、悪化させないための取り組みを情報提供	5: 地域		地域の医師による、地域向け講座。 年1回	0	0
35	ブララ健康イベント	平成29年度	1: 地域活動交流事業	1: 優先的に取り組み	ケアプラザの活動周知	5: 地域		介護予防や認知症予防など、ケアプラザの活動をアピールする。 年1回 日曜日	0	0
36	すぎたからつな5	平成29年度	1: 地域活動交流事業	1: 優先的に取り組み	ケアプラザの活動周知	5: 地域		介護予防や認知症など、ケアプラザの活動をアピールする。 年1回 土曜日	0	0
37	スマホステップアップ講座 LINE でコミュニケーション	令和3年度	3: 生活支援体制整備事業	1: 優先的に取り組み	コロナ禍での孤立化予防、シニア世代へのICT活用の普及啓発	1: 高齢者		講師を招聘し、キャリア、機種に関係なくLINEを中心としたスマホ操作の指導。 3回開催	4	33
38	Yワイサロン	令和3年度	3: 生活支援体制整備事業	1: 優先的に取り組み	コミュニティスペースYワイひろばを使用し、落ち着いた環境での物づくり講座。空き家の活用と高齢者の居場所づくり、仲間づくり、多世代交流。	5: 地域		講師を招いて小物づくり。講座後の茶話会、サロン活動。 年2回	0	0
39	げんき絵手紙サロンin新杉田	令和3年度	1: 地域活動交流事業	1: 優先的に取り組み	世代や障害の有無に関わらず、誰でも参加できる事業。 コロナ禍で人との交流が希薄になる中で、誰でも親しみやすいコミュニケーションツールの創出。	6: 地域		絵手紙の講師を招いて、暑中見舞い等季節の便りの作成	1	6
40	スマホフォローアップサロン	令和3年度	3: 生活支援体制整備事業	1: 優先的に取り組み	スマホステップアップ講座参加者を対象に個々のスマホ操作の相談に参加者全員で取り組みながらスマホを通じた仲間づくりの機会をつくる。	1: 高齢者		講師を招聘し、キャリア、機種に関係なくスマホ操作の指導。 2回開催	2	12
41	よこはまシニアボランティアポイント登録研修会	令和3年度	5: 共催（１と３）	1: 優先的に取り組み	よこはまシニアボランティアポイントの普及を通じて、高齢者の健康増進・介護予防、社会参加や地域貢献を通じた生きがいづくりの促進と地域との交流の促進を図る	1: 高齢者		よこはまシニアボランティアポイントの概要説明、ボランティアの心構えや注意点などの講座。	1	14
42	Web予約サポート講座 & スマホ・インターネット相談会	令和3年度	3: 生活支援体制整備事業	1: 優先的に取り組み	スマホ等からのWeb予約が困難である高齢者を対象に、Web予約の方法を実践に即してレクチャーし、スムーズな予約につなげる。	1: 高齢者		新型コロナウイルスワクチンのスマホによるWeb予約サポートの講座。	1	5
43	健康寿命は健口から	令和3年度	2: 地域包括支援センター運営事業	1: 優先的に取り組み	介護予防の知識の普及啓発	1: 高齢者		口腔フレイル予防のための口腔ケアと口腔体操。	1	9

■ 事業
1：地域活動交流事業
2：地域包括支援センター運営事業
3：生活支援体制整備事業
4：共催（1と2）
5：共催（1と3）
6：共催（2と3）
7：共催（1と2と3）

■ 事業の性質
1：優先的に取り組みが求められる事業
2：福祉保健活動に発展させることをねらいとした事業

■ 主な対象者、従たる対象者
1：高齢者
2：障害児・者
3：養育者及び乳幼児
4：子ども・青少年
5：地域
6：事業者
7：その他

No	事業名	開始 年度	事業	事業の 性質	事業目的	主な 対象者	従たる 対象者	事業内容・実施時期	合計	
									実施 回数	延べ 参加 人数
44	楽しく学ぶ食事のコツ	令和3年度	3：地域包括支援センター運営事業	2：優先的に取り組み	介護予防の知識の普及啓発	2：高齢者		高齢期における食事の摂り方（サルコペニアフレイル予防のための栄養）。	1	11